

# 東北地方 1か月予報

(9月13日から10月12日までの天候見通し)

平成20年9月12日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

期間の前半を中心に気温が高い見込みです。

## <予想される向こう1か月の天候>

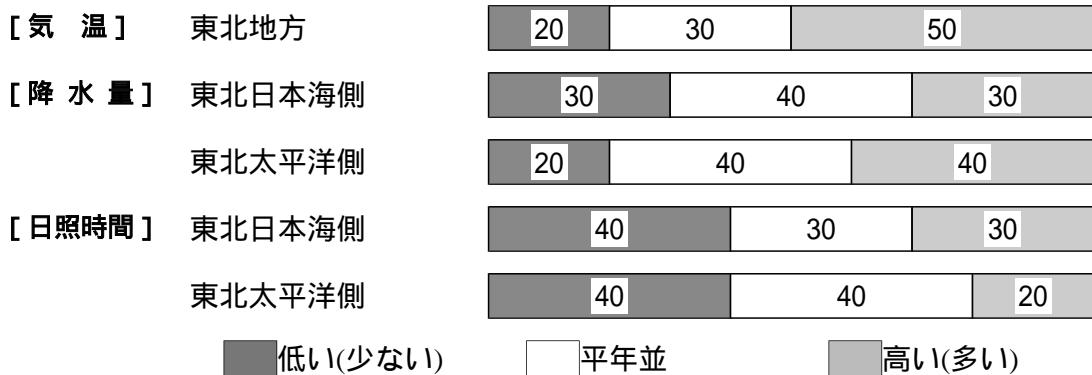
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

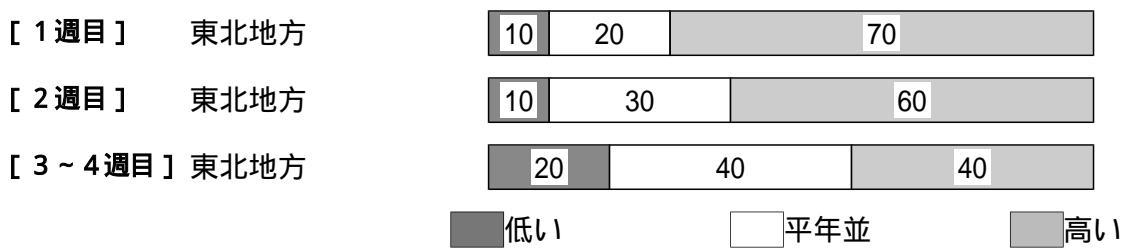
向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率とともに40%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が70%、2週目は高い確率が60%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

- 1か月 : 9月13日(土)~10月12日(日)  
1週目 : 9月13日(土)~9月19日(金)  
2週目 : 9月20日(土)~9月26日(金)  
3~4週目 : 9月27日(土)~10月10日(金)

**<次回発表予定等>**

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は9月19日

3か月予報：9月25日(木) 14時

寒候期予報：9月25日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	16.4	104.0	160.4	18.7	17.5	15.2
深浦	16.9	158.7	150.8	18.9	17.8	15.7
むつ	15.8	148.7	154.8	17.9	16.7	14.7
八戸	16.4	125.0	151.7	18.5	17.4	15.2
秋田	17.4	154.5	154.1	19.8	18.4	16.2
盛岡	15.8	121.1	135.6	18.2	16.8	14.5
大船渡	17.2	192.2	128.7	19.2	18.0	16.1
宮古	16.5	195.6	134.5	18.5	17.4	15.4
仙台	18.2	181.9	127.8	20.2	19.1	17.2
石巻	17.7	147.0	138.5	19.8	18.6	16.6
山形	17.1	109.1	123.8	19.6	18.1	15.9
新庄	16.4	142.5	108.8	19.0	17.4	15.1
酒田	18.2	166.9	146.4	20.4	19.1	17.1
福島	18.4	150.8	117.7	20.5	19.3	17.3
若松	17.3	112.3	115.9	19.8	18.3	16.0
白河	16.7	177.6	114.1	18.9	17.6	15.6
小名浜	19.2	199.1	130.9	21.2	20.0	18.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.2	83 ~ 110	92 ~ 108
東北日本海側	-0.5 ~ +0.3	86 ~ 113	93 ~ 107
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.1	83 ~ 110	92 ~ 110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.4	-0.6 ~ +0.3
東北日本海側	-0.7 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.4	-0.6 ~ +0.4
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.4

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成20年9月12日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(9月13日～10月12日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

なお、期間の前半を中心に気温が高い見込みです。

### 1週目(9月13日～9月19日)：

期間のはじめと終わりは気圧の谷の影響で曇りや雨の日がありますが、その他の日は高気圧におおわれておおむね晴れるでしょう。

平均気温は高い確率が70%です。

### 2週目(9月20日～9月26日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が60%です。

### 3～4週目(9月27日～10月10日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

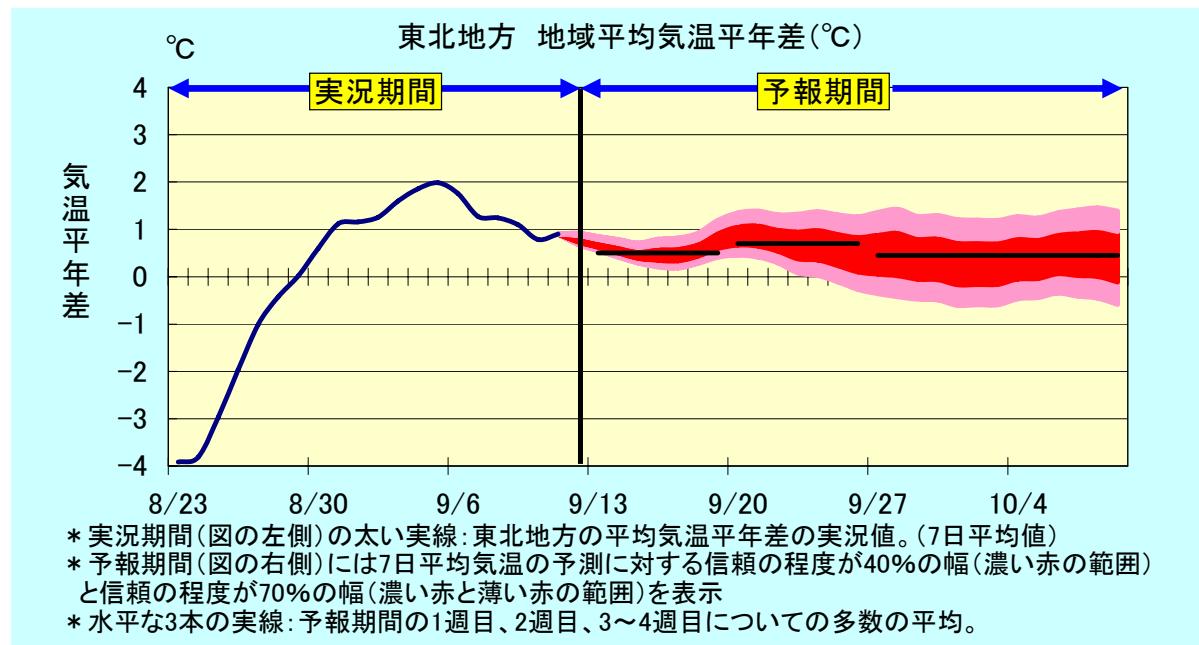
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	13.7日	3.3日	3.4日	7.0日
東北太平洋側	13.7日	2.9日	3.4日	7.4日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3～4週目とも高めの予想となっている。

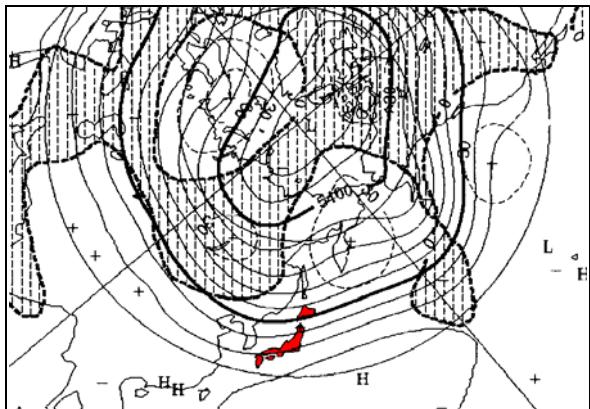


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: バイカル湖付近を中心とする負偏差とカムチャツカ半島付近を中心とする正偏差が顕著。日本付近は西谷傾向で広く正偏差。また、日本の南海上の高気圧が強く、暖かく湿った空気が入りやすいため、気温は高く、東北太平洋側では曇りや雨の日が多い見込み。

1週目: 日本付近は広く正偏差で気温は高めが予想される。また、日本付近の偏西風の蛇行は小さく天気は数日の周期的に変化する見込み。

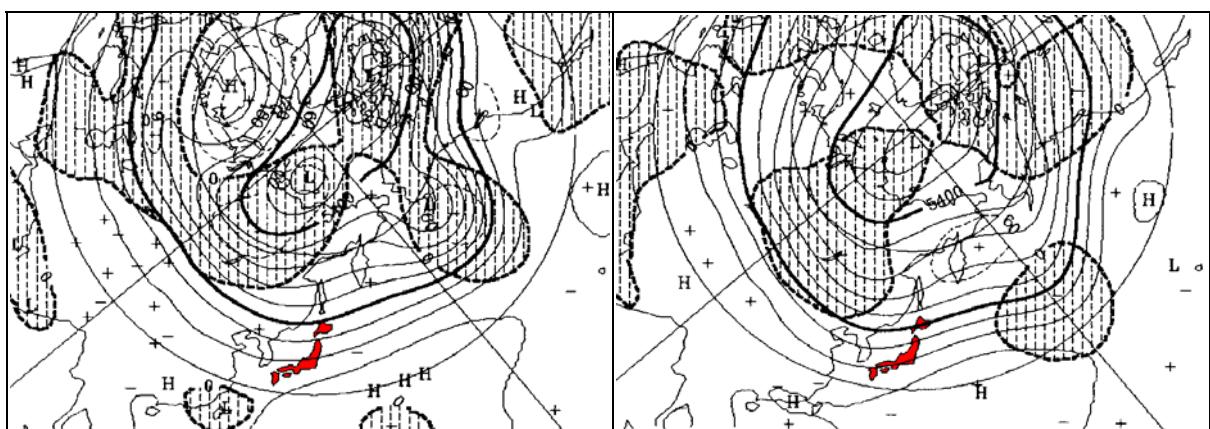
2週目: 日本の南海上の高気圧が強く、日本付近の西谷傾向が強まる。このため、暖かく湿った空気が入りやすいため、気温は高く、東北太平洋側では曇りや雨の日が多い見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

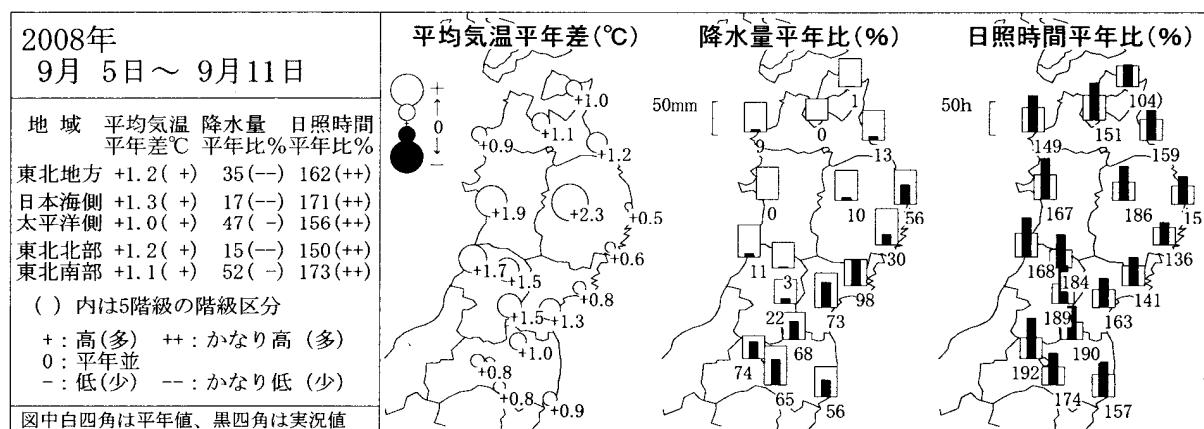
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する

白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間 (9月5日～9月11日) の天候の経過

この期間、移動性高気圧におおわれ晴れの日が多くたが、期間の前半や終わりには気圧の谷や低気圧の影響で曇りや雨の日もあった。6日と7日は大気の状態が不安定で大雨となったところもあり、山形県、福島県、宮城県では浸水害などが発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)